



こつよつ



平成24年度卒業生



向洋魂

PTA会長 内海修一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前の春、真新しい制服に期待と不安の中、岩井崎の校舎でスタートした高校生活、皆さんはその中で東日本大震災を経験しました。三校に分散しての授業、他校の施設を借りての実習や部活そして早起ぎでのバス通学の六ヶ月、九条の仮設校舎で始まった新しい向洋高校での生活とめまぐるしい環境の変化の中、資格の取得、専門知識の習得や勉強、実習に励んできました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前の春、真新しい制服に期待と不安の中、岩井崎の校舎でスタートした高校生活、皆さんはその中で東日本大震災を経験しました。三校に分散しての授業、他校の施設を借りての実習や部活そして早起ぎでのバス通学の六ヶ月、九条の仮設校舎で始まった新しい向洋高校での生活とめまぐるしい環境の変化の中、資格の取得、専門知識の習得や勉強、実習に励んできました。

先生をはじめ、諸先生方には心より感謝し厚く御礼申し上げます。
実社会という荒海に船を漕ぎ出す皆さんには掛けそうになった時、迷った時には、三年間培ってきた「向洋魂」を思い出してください。夢や目標に向かって進むあなたの背中を後押ししてくれる友が、師が、家族がいることを忘れてない下さい。
平成二十二年夏、「わっしょい、わっしょい。」と勝利を信じ、声の限りに応援したあの時、スタンドの応援席での一体感というが、まとも、勢いこそがスピリッツで「向洋魂」だと思えます。向洋、ガンバレ！わっしょい。



今できる地域貢献を 目指して

校長 瀬戸 巳治雄

私たちは日常生活において、常にそれぞれの「価値基準」に基づいた「価値判断」によって、行動を起こしているものです。例えば、皆さんが数ある高校の中で、本校を選んだのも、それによるものだったと言えます。それでは、実際に本校に入学した皆さんの「価値判断」は如何だったのでしょうか。皆さんの本校に対するこの評価は、向洋高校の「存在意義」にも深い関係をもたらすでしょう。

本校は地域に根ざした専門高校であるが故に、本校の「存在意義」は、地元貢献

できる有能な職業人を数多く育成することとよく言われます。しかしこの考え方は、本校を判断する上で、必ずしも評価基準となり得るものではなく、むしろ地元拘泥することなく、どの社会にも貢献できる人物の育成が本校の本来的「存在意義」であると私は考えています。つまり学校が目指すところは、生徒一人ひとりがこの世の中において「生き抜く力」を身に付け、広く社会に貢献できることを狙いとするところにあります。そしてそれらの小さな活動を積み上げ、社会貢献を果

たしていく中に、自力で生き抜く精神の陶冶が実現しているのではありません。
しかしながら現実問題として学校の「存在意義」を考えると、「地域性」を無視することはできません。その意味で、本校が地元気仙沼に果たす役割は大きいと考えます。そこで、地元の高校生として、まずは自分達ができる地域貢献からアクションを起こし、少しずつその活動分野、地域を拡大していくことが大切であり、今すぐできる地元の復旧・復興に関わる役割を、一つ二つと広めることで地元根ざす高校として地域貢献を果たしてまいりたいと考えております。今後とも生徒及び保護者の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年度のPTA活動を振り返って



今年度もは様々な活動を行ってまいりました。その中から主だったものを紹介します。本会の活動にご協力いただいた皆様方に改めて感謝申し上げます。

PTA総会

四月二十二日、仮設校舎での初めての総会を開催しました。今年度は事業計画や予算に加えて、学校からの連絡用緊急メール配信システムの導入が提案され、承認されました。

総会に先立って行われた授業参観では、生徒の学習活動の様子が保護者に披露されました。



PTA支部総会

五月連休明けから六月にかけて支部毎に開催され、今年度の事業計画等について話し合われました。各支部とも震災の影響で活動の見直しを迫られ苦労されている様子でした。支部総会終了後、本部役員や学校からの出席者を交えて情報交換が行われました。

長野県工業高校訪問回校

七月一日、長野県工業高校の生徒・保護者らが本校を訪れました。内海会長以下四名が六月にできあがったばかりののぼりを手に訪問団を出迎えました。

東北地区高P連福島大会

七月十二日、十三日の二日間、福島市で東北地区高P連福島大会が開催されました。本会からは内海会長と事務局員の二名が参加しました。



防犯パトロール・懇親会

夏季休業期間中に支部独自の活動として防犯パトロールや懇親会が開催されました。

研修旅行

二十二号でお知らせしましたが、今年度は大島でのビン玉造りとイカの塩辛作りに挑戦しました。研修の様子をごらん下さい。



秋の交通安全運動

新月・階上支部の会員の方々が、秋の交通安全運動期間にそれぞれ街頭に立ち、通勤途中の市民や登校中の生徒に交通安全を呼びかけました。



みやぎ高校PTAフェスティバル

二〇一三

十月十八日、仙台市青年文化センターにて開催され、本会からは内海会長以下三名が参加しました。今年度、当地区からは、気仙沼西高校の小野寺忠浩会長が震災後の各校の様子をスライドで紹介しました。



朝の一声運動
 十月二十七日、今年度の朝の一声運動を実施しました。会員と事務局合わせて二十二名が参加し、登校してくる生徒達に朝の挨拶とともに、交通安全啓発『じこさけナイト』ステッカーを手渡ししました。



十月二十七日、今年度の朝の一声運動を実施しました。会員と事務局合わせて二十二名が参加し、登校してくる生徒達に朝の挨拶とともに、交通安全啓発『じこさけナイト』ステッカーを手渡ししました。



向洋祭

二年振りの向洋祭参加となりました。四月以降生徒の登下校時に交通事故が多発したこと等を踏まえて、生徒・保護者へのアンケート結果を基に、通学路の危険箇所や要注意箇所を写真入りで記した「通学路交通安全・防犯ハザードマップ」を作成し掲示しました。他にはこうよう二十二号拡大版や向洋祭までの活動の様子を紹介するコーナーを設けましたし、薬物乱用防止啓発のポスターも掲示しました。また、緊急連絡用のメール配信システムへの登録も呼びかけたところ、早速何名かの保護者の方に登録いただきました。以前好評だった喫茶コーナーも復活し、来場者に憩いの場を提供しました。

緊急メール配信システムへの登録のお願い

今年度より緊急メール配信システムを導入しましたが、登録はお済みでしょうか。災害時の連絡だけでなく、学校行事を案内したり長期航海や修学旅行隊の様子を伝えたりするのに活用され、好評を得ています。登録方法等については学校にお問い合わせ下さい。



十一月二十五日、南三陸ホテル観洋にて今年度の宮城県PTA指導者本吉支部研修会が開催されました。今回の研修では南三陸町教育長佐藤達郎氏の講演と研究討議が行われました。
 佐藤教育長の講演では、南三陸町で取り組んでいる地元の地理・歴史・文化などを学ぶ活動が紹介し、『地元について学ぶことの大切さ』について語られました。「自分の生まれた町のことについて自分だけでは知っていないんだらうか」と考えさせられました。
 研究討議では、気仙沼西高校小野寺忠浩会長による話題提供に続いて各校の活動状況報告が行われ、内海会長が本会の活動の様子を報告しました。



宮城県PTA指導者本吉支部研修会



↑保健委員会の力作→



いらっしやいませ～



S科缶詰販売

向洋祭（十月二十七日）

二年振りの一般公開となった向洋祭。各科や文化部による展示・発表、クラスの催し物で校舎がいっぱいになりました。中でも人気だったのが産業経済科の缶詰販売、販売開始のかなり前から並んでいました。保健委員会が階上校舎のモザイクアートを作製し、東日本震災時の行動に関するアンケート調査の結果の展示もしました。現在モザイクアートは職員玄関に飾られています。学校にお越しの際はぜひご覧下さい。

学校行事より

JK2 長期航海 2012.10.10～11.21



実習の様子



いざ大海原へ！



ハワイ上陸



帰港式



今年の水揚げ

※みやぎ生協店舗で販売されました



金閣



清水寺



法隆寺



東大寺



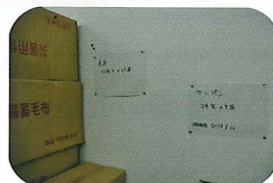
修学旅行(関西方面) 2012.12.4～8

一路USJへ



舞妓は～ん

薬師寺にて



災害用備蓄の確認（1年生）



炊き出し実習（S科2・3年）



AED講習（J科科2・3年）



備えあれば憂いなし 防災学習2012.12.21

柔道部

第25回大久康杯公立高等学校柔道大会

団体 予選 向洋3-2多賀城
向洋3-2名取
向洋1-4宮城水産

個人 小山 浩昂 2回戦敗退
佐藤 貴志 1回戦敗退

第35回宮城県高等学校新人体重別柔道選手権大会

男子60kg級 小山 浩昂 ベスト16
小野寺一馬 〃
男子73kg級 菅井慎太郎 1回戦敗退
佐藤 貴志 〃

相撲部

第20回東北高等学校相撲選抜大会

団体 予選 0勝2点 予選敗退

卓球部

本吉ジュニア予選

男子シングルス 1位 小野寺 航
2位 熊谷 和希

本吉支部新人大会

男子団体 2位
男子個人 シングルス 2位 小野寺龍雲
3位 熊谷 和希
女子個人 シングルス 1位 熊谷 菜生

テニス部

平成24年度宮城県高等学校新人大会テニス競技

男子団体
1回戦 気仙沼向洋3-2仙 台 東
2回戦 気仙沼向洋0-3仙 台 商業
女子団体
1回戦 気仙沼向洋1-4東北学院榴ヶ岡

男子バスケットボール部

平成24年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会本吉支部予選

気仙沼向洋 92-36 東 陵
気仙沼向洋 58-81 気 仙 沼
気仙沼向洋 49-124 志 津 川
気仙沼向洋 57-61 本 吉 響

女子バスケットボール部

平成24年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会本吉支部予選

気仙沼向洋 19-113 気 仙 沼
気仙沼向洋 21-100 志 津 川
気仙沼向洋 33-100 気仙沼女子
気仙沼向洋 31-80 気仙沼西
気仙沼向洋 58-67 本 吉 響

バドミントン部

県新人大会

男子団体
1回戦 気仙沼向洋0-3米谷工業

男子バレーボール部

第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会

宮城県代表決定戦 兼 第35回仙台放送杯争奪宮城県大会

1回戦 気仙沼向洋0-2古川 ベスト16

部活動後期活動状況

平成24年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会

2回戦 気仙沼向洋2-0仙 台 向 山
3回戦 気仙沼向洋0-2仙 台 商業 ベスト16

女子バレーボール部

第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会

宮城県代表決定戦兼第35回仙台放送杯争奪宮城県大会一次予選

1回戦 気仙沼向洋0-2石 巻 市 女
平成24年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会
1回戦 気仙沼向洋2-0石 巻 北
2回戦 気仙沼向洋0-2明 成

ヨット部

平成24年度宮城県高等学校ヨット新人大会

男子FJ級 ソロ競技
1500艇 佐藤 充師・加藤 文也 優勝
1720艇 小野寺 翔・佐藤 大 2位

ラグビー部

第65回宮城県高等学校新人大会決勝トーナメント

※合同Cチーム(向洋, 佐沼, 古川)での参加

1回戦 合同Cチーム98-0石 巻
2回戦 合同Cチーム43-0多賀城
準々決勝 合同Cチーム12-31仙 台 三

第10回東北高等学校ラグビーフットボール7人制大会

※宮城選抜チームに6名選出
1回戦 宮城選抜38-0秋田選抜
2回戦 宮城選抜50-0青森選抜
決 勝 宮城選抜57-0岩手選抜 全国大会出場

写真部

第19回宮城県高等学校写真展

銅賞 遠藤 里沙

ハイテククラブ

気仙沼本吉地区生徒科学研究発表会

発表テーマ「LED制御を用いた簡易ライト制作」
「発電機について」

軽音楽部

お伊勢浜復興ライブフェスタ

1・2・3年生バンド参加

電波研究会

気仙沼本吉地区生徒科学研究発表会

発表テーマ「ダイナミック点灯制御について」

VFC 同好会

10月 ボランティアセンター訪問・懇談
10月 青年学級の人達との交流(気仙沼支援学校)
11月 気仙沼支援学校「学校祭」・松峰園「松峰祭」手伝い
3月 災害復興ボランティア(予定)
通年 プルタブ集め, 通学路清掃

三年生進路決定状況

(二月二十二日現在)

就職内定先一覧

情報海洋科

海洋類型

八興漁業株式会社／株式会社永盛丸／極洋水産株式会社／大濱漁業株式会社／音代漁業株式会社／田中海運株式会社／大倉漁業株式会社

情報電子類型

株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング／NEC東芝スペースシステム株式会社／東京水産運輸株式会社／日産通信株式会社／日本通信エレクトロニクス株式会社／日本無線株式会社／株式会社システムステーション／アンリッ産機システム株式会社／富士通ネットワークソリューションズ株式会社／東京計器株式会社／株式会社キョーワテクノ／有明社宮城電子サービス／戸部電材株式会社／佐藤通信工業株式会社／コスモシステム株式会社／マルタク株式会社／小野寺工業株式会社

産業経済科

株式会社崎陽軒／山崎製パン株式会社／株式会社フジプランニング／株式会社わかさ生活／株式会社三和／株式会社利久／日本レストランサービズ株式会社／白石食品工業株

機械技術科

株式会社／有明社パリー美容院／有明社岩沼屋ホテル／アイリスオーヤマ株式会社／ホテルニュー水戸屋／気仙沼プラザホテル／株式会社小野万／株式会社齊吉商店／株式会社千葉誠／南三陸ホテル観洋

専攻科無線科

株式会社おやま製作所気仙沼工場／株式会社北斗／株式会社荻野谷塗装店／三陸飼料株式会社／株式会社クマケー建設／東北発電工業株式会社／東北計器工業株式会社／戸部電材株式会社／富士重工工業株式会社群馬製作所／日産自動車株式会社／株式会社小森コーポレーション／株式会社桜井製作所／株式会社リコー厚木事業所／株式会社スミハツ／株式会社クボタ／株式会社アクテイオ／キヤノン電子株式会社

専攻科漁業科

宮城県職員／鶴見サンマリンタンカー株式会社／株式会社デユカム／東京汽船株式会社／株式会社ダイトーコーポレーション

専攻科無線科

空港情報通信株式会社／宇宙技術開発株式会社／JRCマリンフォネット株式会社

進学先一覧

情報海洋科

仙台リゾート&スポーツ専門学校／SENDAI中央美容専門学校／専門学校ESPミュージカルアカデミー／気仙沼医師会付属看護学校／気仙沼向洋高等学校専攻科漁業科

産業経済科

立正大学／東北生活文化大学／東北生活文化大学短期大学部／聖和短期大学／仙台医療福祉専門学校／東京IT専門学校／東北へアモード学院／仙台総合ペット専門学校／東北保健医療専門学校／仙台ウエディングブライダル専門学校／盛岡医療福祉専門学校／東北栄養専門学校／武蔵野調理師専門学校／気仙沼医師会付属看護学校／気仙沼高等学校技術専門学校

機械技術科

東北工業大学／仙台医療福祉専門学校／仙台接骨医療専門学校／東日本航空専門学校／東北電子専門学校／東北職業能力開発大学校／赤門自動車大学校／気仙沼高等学校技術専門校／仙台高等技術専門校／大崎高等技術専門校

平成24年度支援状況 (前号掲載分を除く)

(H25. 2.22 現在)

	支援者・支援団体	支援内容	受入先
1	経済同友会	GMDSS 無線設備・冷凍冷蔵庫	学校
2	日本ユネスコ協会	テント	学校
3	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	保管庫・机・椅子等	学校
4	日本農芸化学会	理科備品	学校
5	佐賀きずなプロジェクト	ピアノ購入資金	教育振興会
6	日本教育公務員弘済会	支援金	教育振興会
7	京都祇をん新門荘	支援金	教育振興会
8	長野県長野工業高等学校	支援金	生徒会
9	神奈川県立柏陽高等学校	応援 DVD・応援旗	生徒会
10	広島県福山眺の星女子中学・高等学校	支援金	生徒会
11	熊本県立球磨工業高等学校	支援金	生徒会
12	兵庫県立須磨友が丘高等学校	支援金	生徒会
13	兵庫県立豊岡総合高等学校インターアクトクラブ	マスコット	野球部
14	兵庫県立豊岡総合高等学校野球部・インターアクトクラブ	支援金	野球部
15	やきとり大吉 (岡山県岡山市 岡山西大寺店)	支援金・部活動用品	野球部・学校
16	財団法人 国際開発救援財団	FIDR 部活動サポートプログラム	相撲部・卓球部・テニス部・ 野球部・男子バレー部・ 女子バレー部・ラグビー部

資格取得状況

**危険物取扱者取扱者甲種合格1名(本校初)・乙種全類合格9名！
第二級陸上無線技術1名！ 全経電卓能力検定7段1名！**

情報海洋科海洋類型

三級海技士(航海)筆記試験(科目合格)	JK3: 2名
第一級小型船舶操縦士	JK3: 18名
高等学校潜水技術検定 2級	JK3: 18名
	JK2: 20名
潜水士	JK3: 3名
水産海洋技術検定	JK1: 12名

情報海洋科情報電子類型

第二級陸上無線技術士	JJ3: 1名
第二級陸上無線技術士(科目合格)	JJ3: 7名
	JJ2: 8名
第一級陸上特殊無線技術士	JJ3: 17名
第三級総合無線通信士	JJ3: 16名
第三級総合無線通信士(科目合格)	JJ3: 3名
	JJ2: 8名
第一級海上特殊無線技術士	JJ3: 19名
船舶局無線従事者証明	JJ3: 19名
工事担当者 総合種(科目合格)	JJ3: 2名
工事担当者 DD1種(科目合格)	JJ3: 2名
工事担当者 DD3種	JJ3: 13名
	JJ2: 8名
工事担当者 AI3種	JJ3: 9名
情報技術検定 2級	JJ3: 12名
3級	JJ1: 11名
ワープロ実務検定 3級	JJ1: 12名
秘書実務検定	JJ3: 1名
ビジネスマナー検定	JJ3: 1名

産業経済科

全商ワープロ実務検定 3級	S2: 38名
	S1: 38名
全商ワープロ実務検定 2級	S3: 39名
	S2: 33名
	S1: 8名
全商ワープロ実務検定 1級	S3: 7名
	S2: 2名
	S1: 1名
全商簿記実務検定 3級	S2: 31名
	S1: 14名
全商簿記実務検定 2級	S3: 17名
	S2: 10名
	S3: 1名
全商簿記実務検定 1級会計	S3: 2名
全商簿記実務検定 1級原価計算	S1: 32名
全商情報処理検定 3級	S3: 22名
全商情報処理検定 2級	S2: 15名
	S3: 1名
全商情報処理検定 1級	S3: 23名
全経電卓計算能力検定 3級	S3: 16名
全経電卓計算能力検定 2級	S3: 5名
全経電卓計算能力検定 1級	S3: 1名
全経電卓計算能力検定 7段	S3: 16名
文書デザイン検定 1級	S3: 1名
プレゼンテーション検定 2級	S3: 1名
危険物取扱者 乙種全類	S3: 1名

機械技術科

機械保全技能士 機械系保全3級	K3: 22名
	K2: 11名
機械保全技能士 機械系保全2級	K3: 受検中
	K2: 受検中
機械保全技能士 機械検査3級	K3: 19名
	K2: 14名
	K1: 受検中
電気機器組立て技能士 シーケンス3級	K3: 11名
	K2: 受検中
電気機器組立て技能士 シーケンス2級	K3: 受検中
危険物取扱者 甲種	K3: 1名
危険物取扱者 乙種第4類	K3: 23名
	K2: 12名
	K1: 1名
危険物取扱者 乙種第1類	K3: 8名
危険物取扱者 乙種第2類	K3: 9名
危険物取扱者 乙種第3類	K3: 10名
危険物取扱者 乙種第5類	K3: 10名
危険物取扱者 乙種第6類	K3: 13名
	K2: 2名
危険物取扱者 丙種	K1: 17名
工事担任者 DD3種	K3: 8名
	K2: 4名
工事担任者 AI3種	K3: 5名
	K2: 1名
トレース技術検定 3級	K2: 40名
	K3: 39名
トレース技術検定 2級	K3: 28名
計算技術検定 3級	K3: 30名
	K2: 30名
	K1: 20名
計算技術検定 2級	K3: 1名
情報技術検定 3級	K3: 32名
	K2: 23名
	K1: 12名
情報技術検定 2級	K3: 2名
	K2: 1名
パソコン利用技術検定 3級	K3: 7名
	K2: 6名
	K1: 7名
パソコン利用技術検定 2級	K3: 2名
	K2: 1名
第二種電気工事士	K3: 3名
アーク溶接特別教育	K3: 35名
ガス溶接技能講習	K3: 37名
ジュニアマイスター(ゴールド)	K3: 11名
ジュニアマイスター(シルバー)	K3: 7名
	K2: 3名

専攻科漁業科

三級海技士(航海)筆記試験	PF2: 4名
二級海技士(航海)筆記試験(科目合格)	PF2: 1名

専攻科無線科

第一級陸上無線技術士(科目合格)	3名
第二級陸上無線技術士	3名
工事担当者 DD1種	1名

勇気を持って前へ

三学年主任 神童 修

卒業生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございませぬ。あの忌まわしい震災により教育施設・設備の全てを流出し、十分とはいえない環境のなかでの授業再開。しかも、夢多き多感な時期、様々な葛藤や苦勞を抱えた大変な学校生活だったと思います。そのような状況を乗り越え、卒業する皆さんに心から感謝とお祝いを申し上げます。

「物をなくせば小さなものを失う。信用をなくせば大きなものを失う。しかし、勇気をなくせばすべてを失う。」と何かで読んだことがありますが、物をなくせば痛手を受けますが、代わりはまた見つかるかもしれません。信用をなくすのは大変なことですが、真摯な対応により信用を取り戻すこともあります。しかし、勇気をなくせば一歩たりとも前には進めません。人を行動へと駆り立て、目標を達成するための原動力が勇気です。

何もしないうちから「そんなできない」と言ってしまう人はいません。できないのではありません、失敗したくない、失敗をおそれやろうとしないのです。しかも、起こりもしないことをあれこれ思わずらい行動できない。失敗したくない、いやないですか。自分の思うような結果が得られなくても、全力を尽くしたのなら自分を責めることはありません。行動した後悔よりも行動しなかつた後悔の方が、はるかに強く心の汚点として残るようです。

皆さんがこれから船出していく社会は、順風満帆とは限りませぬ。時化の日もあるでしょう。時化だと言つて逃げ出すわけにはいかないのです。震災により多くのものを失いましたが、困難に立ち向かう勇気は失つていません。この三年間の仲間と家族が皆さんの背中を押してくれるはず。勇気を持って大海へ船出してほしいと強く願つております。

祝・卒業

情報海洋科担任 阿部 知洋

卒業を迎えられる生徒の皆さん、保護者の皆様、おめでとうございませぬ。

保護者の皆様は、長い子育てでこれが一区切りがついて、やつと肩の荷を降ろした気持ちではないでしょうか。

生徒たちは、これから新社会人として未知の領域に足を踏み入れるのですから多少の不安はあることと思ひます。夢や希望を持つて歩み出す若者たちの背を、私たち大人が明るく、力強く送り出してやりたいものです。

そして、生徒の皆さんはこれまで大事に育ててくれた両親や支えてくれた方々、またこれからお世話になる職場の方々へ感謝の気持ちを忘れることなく、社会人として精一杯頑張つて下さい。

成長した皆さんと笑顔で会える日を楽しみにしています。これからの人生が素晴らしいものになるよう、心から応援しています。

笑顔の多い日ばかりじゃない

産業経済科担任 石山 一則

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございませぬ。振り返るとこの日を迎えるまで濃密で、楽しく賑やかで笑顔が絶えない学校生活だったのではないのでしょうか？不便な面もありましたが、一人一人が逆境を乗り越え大きく成長しましたね。入学時より表情が力強くなつたような気がします。

ことあるごとに成長した姿を見ると内心は誇りに思い、嬉しく誉めたい気持ちでいっぱいでした。でも自分の経験上、人は誉められると油断してしまい、戒められることをしなくなる生き物。現状に満足してしまつと成長しなくなり、油断しているときに必ずミスや悪いことが起きます。そんなときはじつと我慢です。きつと風向きが変わります。みんなに言いながら自分も戒めていました。毎日元気に過ごしていても辛いことが重なつた時、私は自分なりに言い聞かせます『笑顔の多い日ばかりじゃない』つて。

最後に大事な人（親や家族・友人・恋人・恩師等）に感謝の気持ちを持ち、いつまでも大切にしてください。気づいたときには遅かつた：なんてことがないように。同じ空の下で生きています。笑顔を忘れずにまた何かの機会に何処かで会いましょう。その時のみんなはどうなつていますか？

本来なら卒業式と一緒に迎えるはずだつた大事な仲間を震災で失いました。みんな忘れないうで下さい。

卒業にあつて

機械技術科担任 野上 丈志

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございませぬ。三年前、まだ幼さの残る皆さんを階上の校舎で迎えてから、あつという間に三年という月日が流れました。向洋高校で過ごした三年間は、大いに実りあるものとなつたことと思ひます。楽しいことも多かつたと思ひますが、一年次には震災もあり、今まで皆さんが味わつたことのない、困難な状況になりました。そういった意味では、辛かつたこと、苦しかつたことも多かつたことと思ひます。しかし、その苦しかつた経験こそが後の自分を支えてくれるものと私は考えます。必死に努力し、生活を立て直した皆さんは自身の未来につなぐ橋を、立派に架けることができるのではないのでしょうか。

その橋を渡り、皆さんがそれぞれの新たな世界に飛び込んで活躍することを、本当に楽しみにしています。

保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、至らない点も多々あつたと思ひますが、三年間担任をさせていただけき、それを温かく見守つて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。彼らの向洋高校での日々の努力が、これからきつと結果するこ

とを、お祈りいたします。



編集後記

何時になく寒さが厳しく感じられた冬も過ぎ、新たな門出を祝う春が到来しました。卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございませぬ。今年度は例年に近いPTAの活動が行われました。「向洋祭」も一般公開という形で開催されました。向洋高校の皆さんの情熱が結集された結果であると感じます。「こうよう」No.23では写真を多用し、今年度のPTA活動や向洋祭の様子・卒業の成果・進路状況など一年を総括する号と致しました。紙面にもある「メール配信」は、緊急時のみならず高校の情報を迅速に取得できるという意味でかなり有効な手段であると思ひます。未登録の方はぜひ登録してみたいかがでしょうか。今春には実習棟が完成し学校の環境が整う中、新年度も会員の皆様そして向洋生の皆さんが活躍されることを祈念しております。一年間「調査広報委員会」にご協力いただきありがとうございます。

PTA調査広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 順子 美子 |
| 副委員長 | 佐藤 恵子 |
| 委員 | 三浦 律子 |
| | 阿部 信浩 |
| | 鈴木 克敏 |
| | 平山 政司 |
| | 梶原 康樹 |
| | 遠藤 茂和 |
| | 山島 山 |
| 事務局 | |

発行

宮城県気仙沼向洋高等学校
PTA調査広報委員会

気仙沼市九条213-3
TEL0226-22-1131, 22-1138

E-mail: chief@kkouyo-h.myswan.ne.jp

印刷/小宮山印刷工業株式会社